

ちっちゃいものくらぶ

カマキリ(さん)

会える時期(野生では)

雄:10月中～下旬 雌:11月上～下旬頃

食べるもの(肉食性です)

自分より小さい昆虫や小動物 でもスズメバチやオニヤンマ、ヘビ、クモ、カエル、トカゲ、ミミズなども食すことがあるらしい。

一番大事なのは、それが「生きている」こと。

死んで動かないものは召し上がらない。食べる時は鎌型の前脚で獲物をとらえて抑えつけ、大きな顎でかじる。お食事の後は前脚を念入りになめてきれいにするんだって。

共食い

体の小さい雄が大きい雌に食べられちゃうこともある。日本のカマキリさんは自然状態で雌が雄を食べることはあまりないとも言われてるらしいけど、秋が深まり、食べ物が少なくなると雄が大事な栄養源になることも…。雄ヤバシ！



子孫を残すお仕事

8月下旬から9月にかけて交尾をし、雌は卵をあわあわと一緒に産む。あわあわは外部の衝撃や暑さ寒さから卵を守ってくれる。孵化後は前幼虫から幼虫、成虫という変化をとげる。でも大人になれるのは、数百匹のうち、わずか数匹なんだって！



おれはかまきり

～かまきりりゅうじ～

おう なつだぜ

おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれの ころも かまも

どきどきするほど ひかっているぜ

おう あついで

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまを ふりかざす すがた

わくわくするほど きまっているぜ

「のはらうた1」 工藤直子

でっかいころ

～かまきりりゅうじ～

おれ ちびだったときも ころは、でかかったぜ

おきにいりの はっぱのかげで むんっ！と むねをはり

ちびちびのカマ ふりあげたぜ

おれ つらいときもあつたけど ころは でかかったぜ

たくさんの なつのひびが がんばれ がんばれ がんばれと

はげましてくれて おれは しっかり いきてきた

ゆさゆさと からだをゆすり さんかくの かおをかたむけ

おおきくなった カマをふりふり

おれ しみじみ かんがえる おれ よくやった

おれ たいしたもんだ でっかいころを ささえにして

おれ いっしょうけんめいだった

そうだ いつも 「でっかいころ」

おれのなかにあり おれの ほこり！

「のはらうた5」 工藤直子